

＜教科に関する調査＞

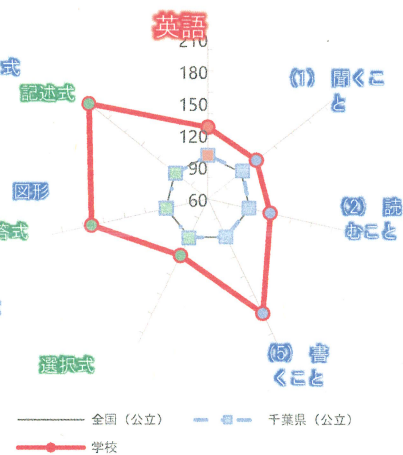
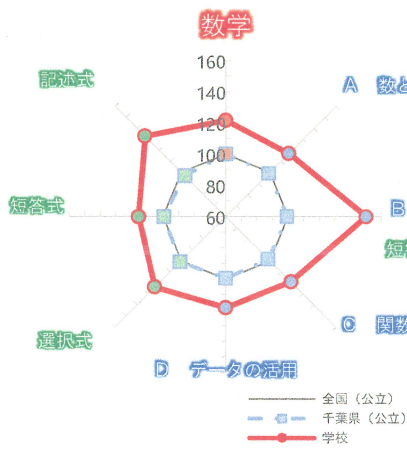
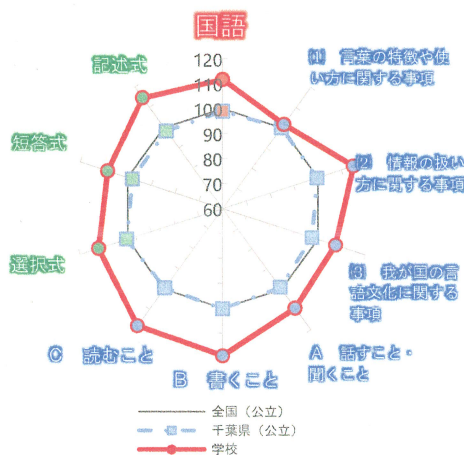
【国語】		設問数	正答率	相対値	
全体	国語	15	78	111.7	
			69	98.9	
			69.8	—	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	68.6	101.6
			67.4	99.9	
			67.5	—	
		(2) 情報の扱い方に 関する事項	2	73.0	115.1
			63.2	99.7	
			63.4	—	
		(3) 我が国の 言語文化に 関する事項	3	80.3	107.5
			72.9	97.6	
			74.7	—	
	思考力・ 判断力・ 表現力等	A 話すこと・ 聞くこと	3	89.9	109.4
			81.5	99.1	
			82.2	—	
		B 書くこと	2	75.2	119.0
			63.3	100.2	
			63.2	—	
		C 読むこと	4	75.2	118.1
			63.4	99.5	
			63.7	—	
問題形式	選択式	7	82.0	112.2	
		73.4	100.4		
		73.1	—		
	短答式	4	71.1	108.4	
		64.3	98.0		
		65.6	—		
	記述式	4	78.0	114.7	
		66.9	98.4		
		68.0	—		

【数学】		設問数	正答率	相対値
全体	数学	15	62	121.6
			51	100.0
			51.0	—
学習指導要領の領域	A 数と式	5	73.8	117.1
			62.4	99.0
			63.0	—
	B 図形	3	49.9	150.3
			33.0	99.4
			33.2	—
	C 関数	4	61.0	119.1
			50.5	98.6
			51.2	—
	D データの活用	3	57.4	118.4
			48.3	99.6
			48.5	—
問題形式	選択式	4	56.1	123.8
			45.8	101.1
			45.3	—
	短答式	6	72.3	115.5
			62.3	99.5
			62.6	—
	記述式	5	55.3	132.9
			40.3	96.9
			41.6	—

1 段目：学校 2 段目：千葉県（公立） 3 段目：全国（公立）

【英語】		設問数	正答率	相対値
全体	英語	17	58	127.2
			46	100.9
			45.6	—
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	69.0	118.2
			59.4	101.7
			58.4	—
	(2) 読むこと	6	61.6	120.3
			51.1	99.8
			51.2	—
	(3) 話すこと〔やり取り〕	0	—	—
			—	—
			—	—
	(4) 話すこと〔発表〕	0	—	—
			—	—
			—	—
	(5) 書くこと	5	42.0	179.5
			23.3	99.6
			23.4	—
問題形式	選択式	12	65.3	119.2
			55.2	100.7
			54.8	—
	短答式	3	51.8	172.1
			30.0	99.7
			30.1	—
	記述式	2	27.4	203.0
			13.3	98.5
			13.5	—

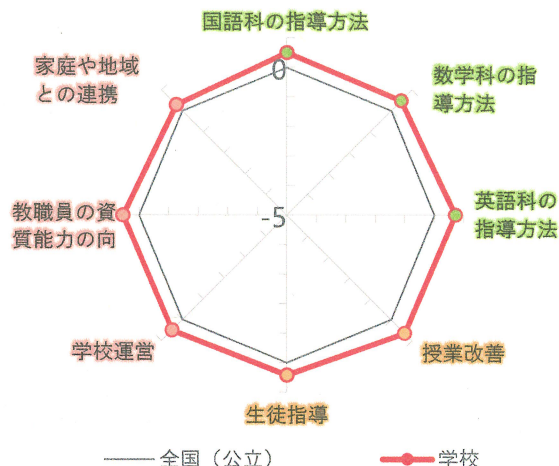
※教科レーダーチャートは、各区分の全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値を示したものである。



＜学校質問紙調査＞

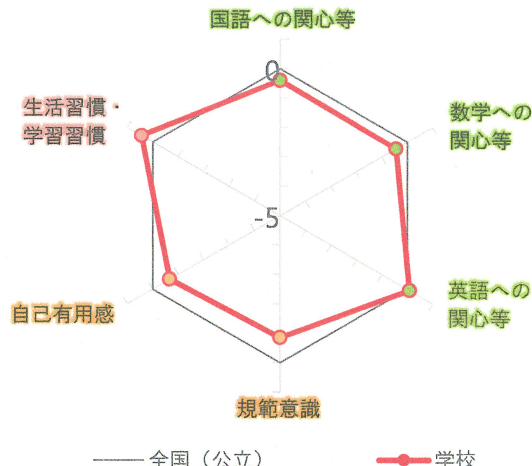
	国語指導	数学指導	英語指導	授業改善	生徒指導	学校運営	資質向上	家地連携
パラメータ値	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.80
スコアZ	0.50	0.48	0.71	0.65	0.42	0.50	0.54	0.29

※質問紙レーダーチャートは、文部科学省の「『全国学力・学習状況調査結果チャート』の作成方法」に基づき、「調査結果に関する補足説明 全国学力・学習状況調査結果チャートについて」に示された全国平均値及び標準偏差を基に算出した値を示したものである。なお、「教科学力」については、上記＜教科に関する調査＞と重複するため省略してある。



＜生徒質問紙調査＞

	国語関心	数学関心	英語関心	規範意識	自己有用	生活学習
パラメータ値	3.12	2.94	3.09	3.46	2.99	3.14
スコアZ	-0.40	-0.45	0.09	-0.85	-0.67	0.44



＜教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析＞

国語の調査結果にみられる特徴と現状 すべての項目で全国平均を上回っています。昨年度、コロナ禍の中でやりきれなかったスピーチに関する授業を今年度は積極的に行った結果、話すこと・聞くことで全国平均を上回ることができました。また、ICT機器を活用して意見を書いたり、共有したりすることで書く力が身に付いたように感じます。読むことに関しては、じっくり読み解く問題を得意とする生徒が多い傾向があると思います。他の項目についても、普段の授業の中で作文や授業開始2分前の漢字練習・テストを行っている成果だと思います。全体的に良い結果ですが、熟語の正答率が全国平均とあまり変わりませんでした。漢字テストの中に熟語を理解する問題をもっと取り入れる必要があると思います。	数学の調査結果にみられる特徴と現状 すべての項目で全国平均を上回っています。昨年度同様、記述式の問題や図形の正答率が高い傾向にあります。本校では、授業でグループ学習や教え合い学習を行っており、得意な生徒が、苦手な生徒に教えることで、考えが深まり相乗効果が生まれているように感じます。昨年度と同様の結果が出ているのは、数学科で各学年同じ足並みで授業を実施している成果であると思います。また、単元ごとに振り返りシートを活用し、単元で学んだ数学的用語を使い、振り返りを行うことで知識が定着しているように感じます。	英語の調査結果にみられる特徴と現状 すべての項目で全国平均を上回っています。その中でも特に記述式の問題や短答式、書くことの項目が高い傾向にあります。本校では、授業の中で各単元で習得した単語や熟語を使い、自分で調べて表現することを大切にしている成果だと思います。生徒が学んだことを主体的に調べ、取り組むことで自分の力になっていると感じます。
---	---	---

＜質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析＞

学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状 すべての項目で全国平均を上回っています。昨年度、コロナ禍で家庭や地域との連携等の部分で全国平均を下回っていましたが、今年度は授業参観を再開したり、体育祭等で地域の方を校内に招くことができたりした結果だと思います。どの項目も高いので、学校としてもすごく安定した状態だと思います。これからは生徒のためにより良い学校を目指して頑張っていきます。	生徒質問紙調査の結果にみられる特徴と現状 国語・数学に対する関心の項目の値が全国平均を下回っていました。生徒は違いますが、昨年度より上昇傾向があるのでこれからも各教科で教科担任が工夫した授業（教え合い学習）を行っていきたいと思います。また、昨年同様、自己有用感が低いという結果が出ました。苦手な生徒が「わかった」という授業を目指して今後も上位層だけでなく、下位層にいる生徒が達成感を味わい、自信が持てる授業づくりを考えていきたいです。そのために久寺家中として振り返り活動を充実させ、各教科で研修を重ねていきます。
--	--

＜改善策・検証方法＞

改善目標 ①授業の資質向上（自己有用感を高める） ②教職員・生徒のタブレットPCの有効活用について	改善方策（どのような取組をいつ・どの程度行うか） ①各学期に校内授業研を行います。また、2か月に1回、教科部会を行い、生徒が意欲的に参加できる授業づくりについて考えていきます。また、振り返り活動を充実させます。 ②教職員がタブレットPCを有効活用できるように、各学期に1回研修日を設定します。授業の中で少しでもPCを使う機会を作れるように努力します。	検証方法（いつ・どのように検証・評価するか） ①学期末に生徒にアンケートを取り、評価してもらいます。教職員には学校評価アンケート等を活用し、評価してもらいます。 ②2学期末に行う、学校評価アンケートにて評価してもらいます。
---	---	---

改善方策の実施結果・評価（改善方策を実施後、検証してどうだったか）

＜教科に関する調査＞

【国語】

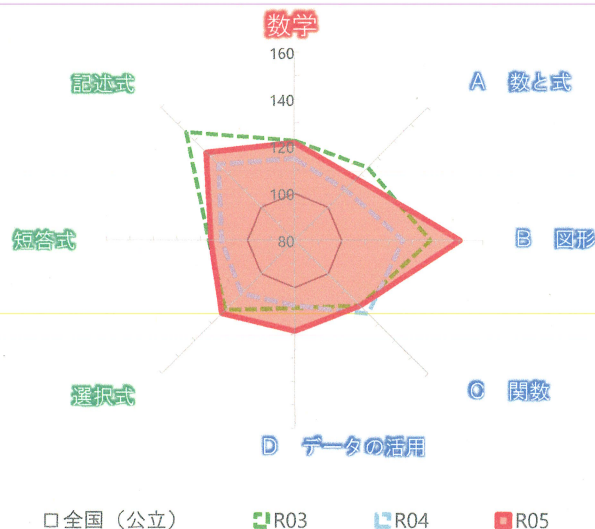
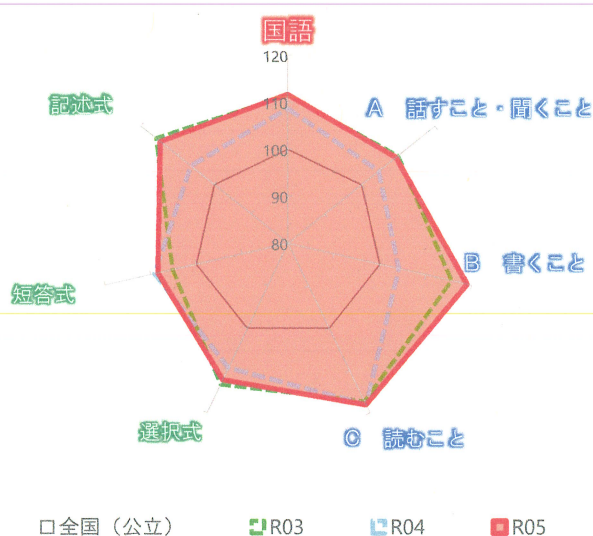
全体	国語	R05	R04	R03
内容	知識及び技能	111.7	108.7	111.5
	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	101.6	106.0	
	(2) 情報の扱い方に関する事項	115.1	104.1	
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	107.5	110.3	
	思考力、判断力、表現力等	109.4	104.7	109.9
	A 話すこと・聞くこと	119.0	104.1	115.6
形式	B 書くこと	118.1	118.0	117.3
	C 読むこと	112.2	109.4	113.3
	選択式	108.4	109.2	105.2
	短答式	114.7	106.4	115.9

【数学】

全体	数学	R05	R04	R03
領域	A 数と式	121.6	114.8	122.4
	B 図形	117.1	110.5	123.9
	C 関数	150.3	126.1	137.7
	D データの活用	119.1	123.9	119.1
		118.4	107.7	108.7
形式	選択式	123.8	112.0	121.8
	短答式	115.5	111.1	116.5
	記述式	132.9	125.7	145.1

※表内の数値及び教科レーダーチャートは、各年度の調査結果について、それぞれの区分の全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値を示したものである。

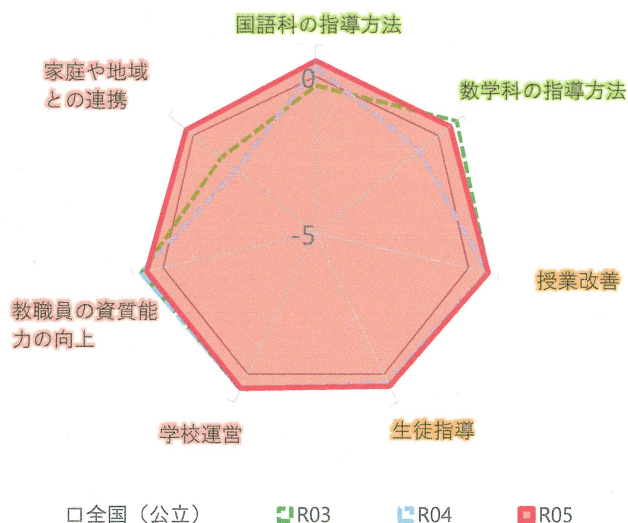
※「D データの活用」について、R3以前の値は「資料の活用」領域のものを参考としている。



＜学校質問紙調査＞

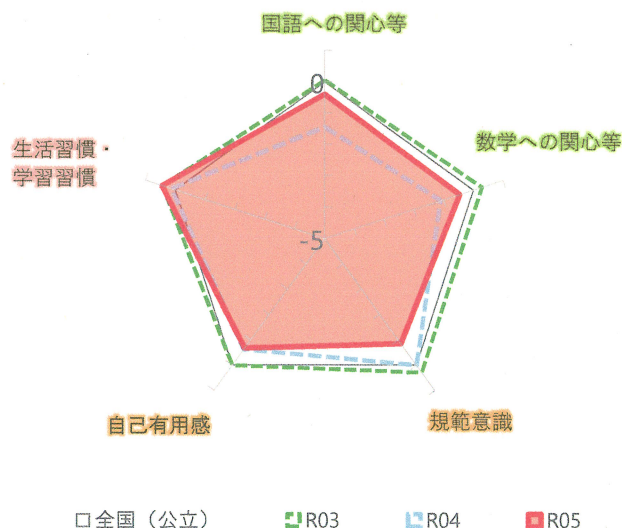
領域Ⅱ	国語科の指導方法	R05	R04	R03
領域Ⅲ	数学科の指導方法	0.50	0.31	-0.29
領域Ⅳ	授業改善	0.48	-0.79	0.75
領域Ⅴ	生徒指導	0.65	0.62	0.64
領域Ⅵ	学校運営	0.42	0.30	0.40
領域Ⅶ	教職員の資質能力の向上	0.50	0.53	0.53
領域Ⅷ	家庭や地域との連携	0.54	0.73	0.71
領域Ⅸ		0.29	-1.77	-1.14

※表内の数値及び質問紙レーダーチャートは、文部科学省の『「全国学力・学習状況調査結果チャート」の作成方法』に基づき、各年度の『調査結果に関する補足説明 全国学力・学習状況調査結果チャートについて』に示された全国平均値及び標準偏差を基に算出したスコアZの値を示したものである。なお、領域Ⅰ「教科学力」については、上記＜教科に関する調査＞と重複するため省略してある。また、過去3年間調査のあった項目のみ表示したものである。



＜生徒質問紙調査＞

領域Ⅱ	国語への関心等	R05	R04	R03
領域Ⅲ	数学への関心等	-0.40	-1.45	0.05
領域Ⅳ	規範意識	-0.45	-1.10	0.29
領域Ⅴ	自己有用感	-0.85	0.00	0.29
領域Ⅵ	生活習慣・学習習慣	-0.67	-0.63	0.00
領域Ⅶ		0.44	0.13	0.43



＜教科に関する調査の結果にみられる成果と課題＞

国語の調査結果にみられる成果と課題

すべての項目で全国平均を上回っています。3年間を比較してもどの項目も同等の数値です。その中でも、特に成果が出た項目は昨年度の課題であった書くことです。成果となった取り組みとしては、授業の中で自分の意見を書くことを積極的に行ったことです。また、ICT機器を活用して他者と意見を共有することを行いました。他にも国語科で共通して振り返りシートを活用し、文章をわかりやすく書くことに力を入れました。現状に満足せず、日々の生活記録を文章でわかりやすく書くこと等、基本的なことを継続していきたいと思います。

数学の調査結果にみられる成果と課題

すべての項目で全国平均を上回っています。3年間を比較してもどの項目も同等の数値が出ています。成果としては、数学科の先生が同じ足並みで授業を展開していることです。上位層の生徒たちのことを考え、インプットしたことを苦手な生徒にアウトプットすることで、更に深い学びに繋がっていると思います。

＜質問紙調査の結果にみられる成果と課題＞

学校質問紙調査の結果にみられる成果と課題

すべての項目で全国平均を上回っています。昨年度の課題であった家庭や地域との連携等について、今年度はコロナも緩和され、授業参観や保護者会を通常通りにできたことや、体育祭の人数制限が解除され、たくさんの保護者や来賓が見に来ることができた結果だと思います。生徒たちは行事を通常通りに行えた結果、家庭や地域と連携できていると実感できたと思います。今後は、すべてを通常に戻すだけでなく、新たな形で家庭や地域と関わる機会を作っていきたいと思います。また、すべての項目について現状に満足せず、更に上昇できるように教職員が一丸となって努めていきます。

生徒質問紙調査の結果にみられる成果と課題

昨年同様、国語・数学に対する関心の項目の値が全国平均を下回っていました。しかし、昨年度よりも上昇傾向にあります。昨年度の結果から、各教科で教科担任が工夫した授業（教え合い学習）を行っているからだと思います。今後も継続し、生徒たちが、国語・数学に関心が持てるよう、努力していきます。自己有用感の項目についても、引き続き、生徒たちが「できた」「わかった」と自信が持てる授業ができるよう、授業研修や教科部会を増やし、教職員全員で改善していきます。また、関心、自己有用感を高めるために、職員間で共通理解を図り、振り返り活動を充実させます。

＜改善策・検証方法＞

改善目標

①国語・数学への関心、自己有用感の項目の値を上げる。

改善方策（どのような取組をいつ・どの程度行うか）

①各教科で振り返り活動を充実させます。各教科の特性に合わせた振り返りの実践を行います。具体的には、職員会議や教科部会の中で、共通理解を図り、毎時間授業の最後に振り返りシートの記入をします。数学では、数学的用語を使った振り返りシートを、国語では、キーワードを用いた振り返りシートを活用します。
②月に1回程度、教員同士でも、振り返りの在り方を考えられるように日報の裏等を使って共有し、自身の授業での振り返り活動の参考にします。
③各学期に1回、生徒の振り返りに焦点を当てた校内研修を実施し、教科の枠を越え、各教科の取り組みを共有します。

検証方法（いつ・どのように検証・評価するか）

①来年度の全国学力・学習状況調査を使って評価していきます。また、各学期毎に授業評価アンケートを取り、評価していきます。

改善方策の実施結果・評価（改善方策を実施後、検証してどうだったか）